

北納だより

温故
創新

義務教育学校 八女市立

上陽北納学園

JOYO-HOKUZEI compulsory education school

第8号 令和7年10月14日発行

文責 校長 武藤 健

令和7年度重点目標「目標達成に向かって粘り強く取り組む子供の育成」

令和7年度の後期がはじまりました～努力を重ね、実りを迎える後期に～

本日10月14日(火)から後期が始まりました。子供たちは前期の歩みを振り返り、それぞれが新たな目標を胸に「わくわく」「きらきら」しながら、後期の学校生活へと踏み出しています。前期同様、本校の重点目標である「目標達成に向かって粘り強く取り組む子供の育成」を、日々の学習や行事のなかで具体化していきたいと考えています。

11月7日(金)には全校での学習発表会が予定されています。1年生から9年生までが学びの成果を披露し合い、ともに刺激を受けながら学校全体を成長させていく大切な機会です。仲間と協力し、発表に向けて努力を積み重ねていく姿こそが「粘り強く取り組む力」を養う場になることでしょう。11月中頃には6年生が長崎へ修学旅行に出かけます。歴史や平和について深く学び、友との絆を確かめる貴重な体験となります。また、9年生は進路決定・実現に向けた大切な時期を迎えます。一人ひとりが自らの将来を見据え、努力を重ね、夢の実現に向けて歩みを進めていくことを願っています。

本校は義務教育学校として、1年生から9年生までが同じ学び舎で共に成長するという特色をもっています。年上の学年は下級生の手本となり、年下の学年は上級生の姿に学ぶ。そのつながりが、学校全体を一つの大きな家族のように育てています。後期も、全員で力を合わせて、より良い学校を築き上げていきましょう。



ハワイ州カミロイキ・エレメンタリースクールとのオンライン交流

9月17日(水)に、本校の5年生と6年生が、ハワイ州のカミロイキ・エレメンタリースクールの皆さんとオンラインで交流を行いました。画面越しではありましたが、互いに自己紹介をしたり、クイズを出し合ったりして、大変盛り上がる時間となりました。

子供たちは英語でのやりとりや異文化に触れる体験を通して、新しい発見や喜びを感じることができました。今回の出会いをきっかけに、将来的にはワシントン・ミドルスクール同様に、直接会って交流できることを目指しています。

学校としても、子どもたちが幼少期から国際的な視野を広げ、異なる文化や価値観を理解し合うことの大切さを学べるよう、これからもハワイ州の学校との交流活動を継続して取り組んでいきたいと考えています。

※10月7日(火)には、ハワイ州のアヌエヌエ学園が本校を訪問されました。紙面のスペースの関係上、次号の学校だよりに掲載いたします。

※本年度、本校はハワイ州の4つの学校と交流活動を行っています。



自分の希望や適性に合った職業を見つけるために ～7年生職場体験学習～

9月25日(木)に、本校の7年生が、八女市内12の事業所にご協力いただき、職場体験学習を行いました。これはキャリア教育の一環として、自らの希望や適性を考えながら将来の職業を見つめることを目的とした取り組みです。

実際の現場で働く方々の姿に触れ、社会の中で自分がどのように貢献できるのかを考えることは、子どもたちにとって大変貴重な経験となりました。体験を通して、働くことの意義や喜びを感じ取るとともに、自分自身を見つめ直す機会にもなったことと思います。これからの進路を考える上で、職業観をしっかりと身につけていくことはとても重要です。今回の学びが、一人ひとりの将来に向けた歩みの礎となるよう願っています。ご協力いただいた事業所の皆様に、心より感謝申し上げます。



八女茶のおいしさを再発見！！ ～お茶の淹れ方教室・碾き臼体験学習～



9月24日(水)に、3年生を対象に「お茶の淹れ方教室」、10月3日(金)に、9年生を対象に星野村の「茶の文化館」で、抹茶の「碾き臼体験学習」を実施しました。ご存じのとおり、八女市は全国的にも有名な銘茶「八女茶」の産地です。子どもたちは、お茶を淹れる作法や心を込めたもてなしの大切さを学ぶとともに、碾き臼を使った抹茶づくりの体験を通して、伝統ある技術やお茶文化の奥深さを実感しました。

今回の学習は、地域の産業のすばらしさを再発見すると同時に、自分たちの暮らす郷土への誇りを育む機会となりました。未来を担う子どもたちが、このような体験を通じて地域産業の魅力を理解し、その振興へとつながる意識を高めてくれることを願っています。



芸術・文化の秋を実感しました ～第66回八女地区中学校連合音楽会～

9月27日(土)に、サザンクス筑後において「第66回八女地区中学校連合音楽会」が開催され、本校からは、音楽部の4名が箏曲の演奏で出場しました。近隣の中学校が吹奏楽を中心に活動するなかで、本校は日本の伝統的な楽器である「箏」を取り入れていることが大きな特色です。箏の音色は、聴く人の心を静かに包み込み、古来より受け継がれてきた日本文化の美しさを改めて実感させてくれます。今回の発表を通して、生徒たちは技術の向上だけでなく、伝統文化を継承し、次の世代へつなげていく大切さを学びました。本校が大切にする「地域や日本の良さを再発見し、誇りをもつ心の育成」の一環として、今後も音楽部の活動を支えていきたいと思います。

※八女地区中体連の各種新人大会も行われています。紙面のスペースの関係上、次号の学校だよりに掲載いたします。



本校の運動場に夏休み以降、雑草がたくさん生えています。部活動や社会体育の野球やサッカーがなくなったこともあり、雑草の伸びが早くなっていました。除草剤を散布したいところですが、近隣の畑のことも考慮するとそれもできませんでした。すると、1・2年生が暑い中草むしりをしてくれました！！ 本当にありがとうございます！！

